

令和2年度 東京都地域学校協働活動 推進フォーラム

【オンライン開催】

～子供たちの教育環境を豊かにする
学校運営協議会と地域学校協働活動の取組に学ぶ



「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校と地域との連携協働の推進が求められています。区市町村における地域学校協働活動の推進に関する課題のひとつは、「学校運営協議会と地域学校協働活動との一体的推進」です。

フォーラムでは、この課題を踏まえつつ都内で展開している多様な取組事例を取り上げます。地域学校協働活動関係者（行政職員、統括コーディネーター、地域コーディネーター、学校（教員）等）が、現状や課題についての理解を深め、各地域の実情に応じた今後の取組の参考にしていただけるコンテンツが盛りだくさんです。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策として、参集型ではなく、インターネット配信等による開催です。

※以下「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」を「CS」とします。

令和3年1月30日（土曜日）
午後1時30分から3時30分
ライブ配信（ライブ映像及び事例紹介の動画）

東京都 地域学校協働活動

検索

東京都教育委員会

東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課

電話:03(5320)6859

電子メール: ml-sy-gakosien@section.metro.tokyo.jp



←このQRコードで、フォーラム専用サイトの入口を御案内します。

<https://www.syougai.metro.tokyo.lg.jp/sesaku/shien.html>

対象

■各区市町村地域学校協働活動関係者

区市町村教育委員会担当者(地域学校協働本部・地域未来塾、学校運営協議会 担当等)
統括コーディネーター
地域コーディネーター
学校関係者(管理職及び教員)

■その他関心のある方

フォーラム・コンテンツ

■1月30日フォーラムライブ配信

□第1部 「コミュニティ・スクール」の導入に学ぶ 午後1時30分から2時30分

基調提起「あらためて、なぜCSなのか」

相田康弘(文部科学省CSマイスター、山口県光市立浅江中学校教頭)

CS設置の努力義務化から4年目、CSを設置又は設置を検討する地域が増えている現在、CSの基本、その今日的意義について学ぶ機会として、文部科学省でCS推進係長を経て、現在は学校現場でご活躍のCSマイスターにお話を伺います。

「導入で変わった・わかった！VOICE」BY コミュニティ・スクール設置地区

東京都において実際にCSを設置した学校の声、地域住民等の声を紹介します。

□第2部 多様な地域学校協働活動の取組事例に学ぶ 午後2時45分から3時30分

事例紹介「コロナ禍における地域学校協働活動、コーディネートの展開」

リモートやオンラインを活用して、授業支援や「工場見学」などの学校支援の具体化にチャレンジしたコーディネーターと学校の取組をご紹介します。

事例発表「一体的推進による多様な地域学校協働活動」

幅広い地域住民等の参画により、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域を創生する活動、「地域学校協働活動」の優れた活動事例について、ご報告いただきます。

■企業・NPO等による“教育プログラム”オンライン見本市

子供たちの教育活動に、企業、大学、NPO等の専門的な教育力を効果的に導入するためのネットワーク「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」による学校支援活動等で活用可能な教育プログラムを紹介します。

■地域学校協働活動関連サイト紹介

区市町村等での地域学校協働活動の取組がわかるサイトをご紹介します。

フォーラムへのアクセス

■フォーラム専用サイト・ライブ配信へアクセス

- ・事前の申込みは必要ありません。
- ・パソコンやスマートフォンで閲覧することができます。(閲覧の際の通信費は閲覧者の負担となりますので、常時接続の環境での閲覧をお勧めします)
- ・フォーラム専用サイトのコンテンツは、令和3年1月30日午後1時から閲覧可能となります。
- ・1月30日のライブ配信は、令和3年1月30日午後1時30分から配信を開始します。フォーラム専用サイトにアクセスしてください。
- ・ホームページ及び配信動画アーカイブ閲覧期間は、令和3年1月30日(土曜日)配信終了後から2月26日(金曜日)午後5時までです。

東京都 地域学校協働活動

検索

■閲覧時のお願い

- ・フォーラム専用サイト及びライブ配信ともに閲覧のみとなり、双方向のプログラムはありません。
- ・専用サイトにアンケートを用意しています。サイト又は配信を閲覧後に、アンケートの回答に御協力ください。